

しちがはま 議会だより

No. 125

平成27年12月1日
宮城県七ヶ浜町議会



東日本大震災復興支援

JOC「がんばれ!ニッポン!」プロジェクト

オリンピックデー・フェスタ

翼をひろげて!
(スポーツフェスタ in 七ヶ浜)

特集	26年度 決算	住宅復興を最優先	2
		安全な通学路の確保など	6人が質問 13
		議会報告・懇談会を開催します	21
		新人議員の意気込み	22

決算 審査

平成26年度の各種会計決算審査は、特別委員会を設置して9月29日から10月9日までの日程で行いました。
担当課ごとに説明を受けたあと、質疑・応答により慎重に審査しました。その後、討論・採決の結果、全会計の決算を認定しました。
主な内容を要約してお知らせします。



どのように使ったのか

各課審査で質疑応答

町民バス ぐるりんこ

問 ぐるりんこ乗車券として3000円の回数券を発行したが効果と実績は。

答 政策課長 年間実績として、5000円券が814冊、3000円券が130冊で利用率は約98%であった。

効果はいかに？

復興関連

問 派遣職員の住居はどのように確保しているのか。

答 総務課長補佐兼係長 家具付きのアパートを利用し、職員交代の際も継続利用としている。

問 同じ路線で時期を違えて狭い道路整備と改良工事が行われている。同じ工事として実施できないのか。

答 建設課長 区画整理事業が別途工事の扱いであり、同時工事ができなかった。今後は、連携を取りながら同時に工事を行うことを検討したい。

教育関連

問 学校教育支援センター事業の効果と今後の事業展開は。

答 教育長 学校への復帰など支援効果があった。継続が必要である。コーディネーターの任期の課題もあり体制を考えたい。

特定健康診査

問 特定健康診査の会場として、武道館が使用されているが、会場までの足の関係で地区ごとに行えないか。

答 健康増進課長 種々の意見・要望があるが、総合的に判断して現状で実施の予定である。

武道館での特定健康診査

コミュニティセンター

問 境山・遠山地区コミュニティセンターの利用が大幅に増加している。施設の維持の考えは。

答 生涯学習課長 利用者がいる間は存続したい。

卓球でも利用のコミュニティセンター

子育て支援

問 親子通園保育の利用が増加している要因は。

答 子育て支援センター所長 支援センターの移転や通園日を1日増やしたことで利用者が増加した。

平成26年度 震災復興推進事業 決算額 63億2327万円

主な事業内容

委託事業費 29億4365万円

事業	金額	事業内容
災害公営住宅造成工事監理	1238万円	災害公営住宅造成工事における監理業務
災害公営住宅整備工事	22億4363万円	松ヶ浜、菖蒲田浜、花洲浜、吉田浜、代ヶ崎浜各地区の建築工事他関連業務
地区避難所建築監理業務	761万円	遠山、湊浜、松ヶ浜地区の建築工事における監理業務



工事費 15億379万円

事業	金額	事業内容
災害公営住宅および高台住宅団地造成工事	5億9749万円	花洲浜五月田、代ヶ崎浜立花、菖蒲田浜中田地区造成工事
地区避難所建築工事	3億8190万円	遠山、菖蒲田浜、湊浜、松ヶ浜、代ヶ崎浜、要害・御林、花洲浜地区避難所建築工事
被災市街地復興土地区画整理事業	3億3820万円	菖蒲田浜、花洲浜、代ヶ崎浜（A地区）地区道路築造工 他

負担金、補助金および交付金 1億883万円

事業	金額	事業内容
住居移転費用補助	2857万円	防災集団移転住居の移転費用補助（82件）
住宅ローン利子補給補助	8026万円	高台住宅団地への住宅再建に伴うローンの利子補給補助（17件）

公有財産購入費 8億3890万円

事業	金額	事業内容
従前用地地取得費	8億3449万円	各地区用地取得（58,386㎡）

討 論



…なので反対します

…なので賛成します

一般会計

反対 歌川 渡

- 次の点で反対する。
- ① 家屋被害を受けたすべての世帯に町独自の支援を行わなかった。
 - ② 一部において、町条例や要綱に照らした事業が行われていない。
 - ③ 町が委託契約した事業者の管理費用負担等に不備がみられる。
 - ④ 非常勤職員や臨時職員の賃金引き上げがない。
 - ⑤ 児童遊園や都市公園の管理が不十分である。
 - ⑥ 小中学校教職員の時間外勤務の改善を求める。
 - ⑦ 基金の取り崩しを求める。
- 次の点で賛成する。
- ① 震災からの復旧・復興や被災した住民の住宅復興を最優先に取り組み、高台住宅団地造成や地区避難所整備等の成果が見えている。
 - ② 住宅建設や移転に伴う種々の補助金や独自支援を行っている。
 - ③ 長期総合計画に基づき、子育て支援事業や地域公共交通事業の改善等を行っている。
 - ④ 町税や地方交付税が減少している窮屈な財源の中、財政運営の効率化や健全化に細心の注意を払い執行されている。

賛成 岡崎正憲

下水道事業

反対 歌川 渡

- 一般会計からの繰入れを増やすことや平準化債や借り換え債による還元分を町民に還元し、料金引き下げを求める。
- 賛成** 遠藤久和
東日本大震災による下水道関連の災害復旧・復興工事に対応して実施している。
- 反対** 歌川 渡
町民の負担軽減のため、必要以上の基金の積み立てを改め国保税引き下げに充当することを求める。国には制度に基づいた負担割合を求めること。
- 賛成** 鈴木初雄
「ン」二取納を含めた対策で収納率向上の成果も認められる。特定健康診査の適正化や健康保持に努めている。
- 反対** 歌川 渡
本制度は、介護サービス給付の制限や保険料金引き上げで国民と利用者の負担が増えている。保険料の軽減と利用料の助成を求める。
- 賛成** 渡邊 淳
限られた予算の中で適正な運営が行われている。ケアマネジャーとの連携のもと事業が進められている。

反対 歌川 渡

- 高齢者を大切にしない本制度は廃止すべき。以前の老人保健制度に戻し、全国民の英知で高齢者の方が安心して受けられる医療制度を求める。
- 賛成** 渡邊 淳
制度批判でなく、決算の審議である。広域連合の中で十分な取り組みがなされており、決算では収納率の向上も見られ健全化に努めている。
- 反対** 歌川 渡
現金預金の計画的取り崩しと、県の受水料金引き下げ分を充当し、住民負担の使用料金の引き下げを求める。
- 賛成** 佐藤 衛
事業資金は他会計からの補助金が必要な財源であり、厳しい環境に変わりが無い。計画的な改修計画も行われている。
- ※公園墓地は
反対なく全会一致で可決

阿川沼



阿川沼に白鳥が

問 26年度は阿川沼の水質を検査したのか。
答 産業課長 県で検査を実施。農業用水として適格であった。

公園墓地 蓮沼苑
問 公園墓地・蓮沼苑のEプロックには駐車場がなくて不便である。設置の要望はなかったのか。
答 環境生活課長 特に要望はなかったが、手前のプロックに簡易駐車場を検討したい。



会計名	収入	支出	差引額	採決の結果
一般会計	223億4386万円	184億2671万円	39億1715万円	賛成11 反対2 (歌川、木村)
下水道事業	7億6531万円	7億4733万円	1798万円	
国民健康保険	23億1325万円	22億2099万円	9226万円	
後期高齢者医療	1億6036万円	1億5749万円	287万円	賛成10 反対3 (歌川、遠藤、木村)
介護保険	14億7531万円	14億3876万円	3655万円	
公園墓地事業	5181万円	5133万円	48万円	全員賛成

水道事業会計	収益的 ^{*1}	6億4754万円	5億1701万円	1億3053万円	賛成11 反対2 (歌川、木村)
	資本的 ^{*2}	1668万円	8380万円	▲6712万円 ^{*3}	

*1 収益的・・・経営に伴い、発生が予想される収入と費用
*2 資本的・・・将来に備えて行う建設改良等の支出とその財源となる収入
*3 不足分は積立金（留保資金）などで補てん

監 査 の 意 見



代表監査委員
遠藤 均 さん

一般会計の歳入の状況は、前年度より19.8%減少している。固定資産税の償却資産減収や地方交付税、国庫支出金の減少が要因である。

決算規模としては前年度より減少したが、東日本大震災以前の平成22年度と比較すると歳入歳出それぞれ約3.4倍に増加している。これは震災関連による増が主な要因で、実質的には引き続き厳しい財政状況である。

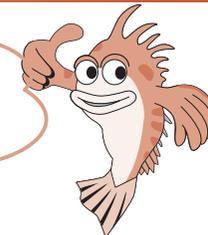
今後予想される震災関連の維持管理を含め、経営経費の抑制と点検を行うとともに、関係法令や条例等に依り限られた財源を重点的、効率的な配分と計画的な事務事業の推進を望む。

補正 予算

一般会計へ4億9854万円追加し 総額を 174億545万円に



まちの財政状況をお知らせするよ



財源構造

区分	平成26年度	平成25年度	県平均 (平成25年度)	説明
財政力指数	0.59	0.60	0.49	標準的な運営経費を、自主財源で賄えることを示した指標。大きいほど財源に余裕がある。
経常収支比率	93.8%	99.3%	93.2%	必要な経費（人件費、扶助費など）に対し、自由に使えるお金の割合。低いほど財政に弾力性がある。
経常一般財源比率	98.8%	89.7%	—	歳入構造の弾力性を示した指標。100を超えると余裕がある。

健全化4指標

区分	平成26年度	平成25年度	県平均 (平成25年度)	説明
実質赤字比率 15.00% ※1	なし	なし	なし	普通会計（一般会計と公園墓地会計）の実質的な赤字を示す割合。
連結実質赤字比率 20.00% ※1	なし	なし	なし	公営企業などを含む全会計に占める赤字の割合。
実質公債費比率 25.0% ※1	3.2%	5.2%	11.1%	自治体の収入に対する借金返済額の割合。
将来負担比率 350.0% ※1	算出されず	算出されず	40.8%	将来にわたる実質的負債「借金」の割合。

※1 早期健全化基準の指標です。1つでも超えると歳入増加や歳出削減などの財政健全化計画を策定しなければなりません。

主な収入

- 地方交付税 7433万円
- 繰越金 2億2103万円
- 東日本大震災復興基金等繰入金 2290万円
- 東日本大震災復興交付基金繰入金 1億3131万円

主な使い道

- 震災復興推進事業 都市公園整備工事 他 1億8010万円
- 七中プール改築工事へ追加 3000万円
- マイナンバー関連システム導入委託費 702万円



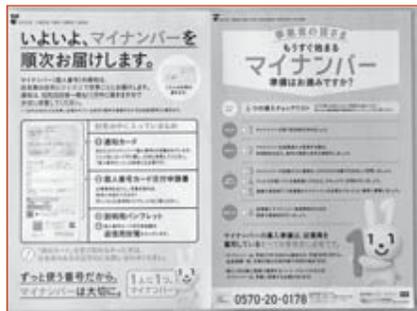
腐食で危険な街灯

防犯灯改修工事に149万円

問 汐見台防犯灯の改修は全域か一部か。
答 総務課長 汐見台の2丁目と5丁目との間の2灯である。

問 七ヶ浜中学校のプール改築工事への追加3000万円はどのような内容か。
答 教育総務課長 環境整備、フェンスおよび一部変更を含め補正する。

七ヶ浜中学校プール改築工事に3000万円



マイナンバーが始まります

一般会計補正予算 討論

反対 歌川 渡
マイナンバーカードの再発行手数料の徴収規定が含まれているから反対する。

議決結果
いずれも全会一致で可決

臨時 議会

8月3日に第2回臨時会を開きました。工事請負契約や財産取得、2件の議員提案が提出され、それぞれを審議しいずれも反対なく原案のとおり可決しました。

工事契約

●平成27年度吉田浜地区広場整備工事
契約先 中鉢建設㈱

金額 6998万円
工期 平成28年4月28日

議員 提案

●議会規則の改正

内容
議会において、出席で欠席する場合の届出を新たに追加するものです。

財産取得

●消防ポンプ自動車
1台

契約先 日本機械工業㈱
納入期限 平成28年2月29日

●議会傍聴規則の改正

内容
議会の傍聴席に持ち込むことを禁止している杖に関して、持ち込みを可能とするものです。

質疑

問 仕様と配備先は、総務課長 昨年購入したものと同じ型式で第2分団（富浦田浜地区）へ配備する。

都市公園整備 土地区画整理

工事

契約等に同意

議案審議



工 事 契 約			
工 事 名	契 約 先	金 額	工 期
都市公園整備 (割山緑地)	(株)重松組	5 1 8 4 万円	平成28年 5月31日
都市公園整備 (汐見台南)	(株)曲小小倉工務店	7 4 2 3 万円	平成28年 6月15日
土地区画整理事業がれき撤去 (花洲浜地区)	(株)重松組	4 8 3 8 万円	平成28年 3月31日

工 事 変 更 契 約			
工 事 名	契 約 先	金 額	理 由
菖蒲田浜地区災害公営住宅 整備事業	宮城県	2 7 億 7 3 7 6 万円 (2 億 7 9 2 4 万円の減額)	精算による減額
笹山地区避難所建築及び 環境整備工事	(株)みなと	7 1 8 9 万円 (6 1 万円の増額)	軟岩層が確認されたので、岩盤破碎工事の増額
土地区画整理事業公共施設 整備工事 (菖蒲田浜地区)	中鉢建設(株)	8 5 0 7 万円 (6 5 1 万円の減額)	道路形状の一部変更による減額



個人番号カード見本

条例制定

●特定個人情報の保護条例

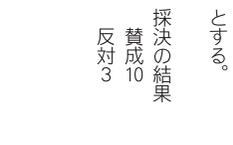
内容
マイナンバーの利用等に関する保護条例を新たに制定するものです。

討 論

反対 歌川 渡
国民への十分な周知と合議を求め、時期尚早であるため反対とする。

賛成 岡崎正憲
個人情報の保護及び適正な管理を重要要件としており賛成とする。

採決の結果
賛成 10
反対 3



個人番号カード見本

条例改正

●手数料徴収条例の一部改正

内容
マイナンバーの利用等に関する法律の施行に伴い、個人番号カードおよび通知カードの再交付手数料を、新たに規定するものです。

討 論

反対 歌川 渡
反対した、特定個人情報の保護に関する条例の各カードの再交付手数料徴収条例で反対とする。

賛成 佐藤 衛
可決された、特定個人情報保護に関する条例であり、また、担当課長より詳細な説明があり賛成とする。

採決の結果
賛成 10
反対 3

議 案

議 案

●地区避難所の設置等に関する条例の一部改正

内容
花洲浜および笹山地区避難所の完成が間近となり、供用が開始されることから、所要の改正をするものです。

●公民館条例の一部改正

内容
七ヶ浜町防災拠点施設(生涯学習センター)の完成が間近となり、供用が開始されることから、使用料金の一部を改正するものです。

議 案

議 案

●産業建設・厚生常任委員会へ付託

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情

陳情者
B型肝炎被害対策東北弁護団
団長 鹿又喜治

議 案

議 案

●固定資産評価審査委員会(再任)

任期
平成27年10月1日から
3年間

鈴木 鶴時さん (再任)
任期
平成27年10月1日から
4年間

鈴木 義博さん (再任)
任期
平成27年10月1日から
3年間

星 正一さん (新任)
任期
平成28年1月1日から
3年間

松ヶ浜 (新任)
任期
平成28年1月1日から
3年間

村上 妙子さん (再任)
任期
平成28年1月1日から
4年間

境山 (再任)
任期
平成28年1月1日から
3年間

人 事

副町長(新任)
坪山 良一さん
任期
平成27年10月1日から
4年間

教育委員(再任)
鈴木 義博さん
任期
平成27年10月1日から
3年間

人権擁護委員(再任)
村上 妙子さん
任期
平成28年1月1日から
4年間

人権擁護委員(再任)
境山
任期
平成28年1月1日から
3年間

町へ意見書を提出

議 案

●被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書

内容
被災者の住宅再建そして生活再建のためには現状の被災者生活再建支援法では不十分であり、現行の支援金最大300万円を500万円に引き上げることや、近頃頻発している自然災害に対しても支援要件の緩和と、災害公営住宅への入居に係る負担軽減等を含めた支援策の拡充を、国・県に対し求めるものです。

討 論

反対 佐藤 衛
支援金額の拡大の根拠が曖昧である。現状でも公平な制度が講じられており一部のみの拡充は、さらなる不公平感を生む。被災者支援を論じている中、他の自然災害にまで広げることは現実的ではない。国負担の割合の引き上げについては、2分の1から5分の4に負担引き上げが成されていることから反対とする。

賛成 歌川 渡
過去の新潟地震においても国・県により支援金上乗せ最大約800万円実績があり、半壊以上を含めてさらなる住宅再建の促進し、局地的災害にも同時に対応すべきで、国の復興財源の負担拡大こそが被災者の負担軽減になるものであることから賛成とする。

議決結果
賛成 9
反対 9
賛成 4
反対多数で否決

●七ヶ浜町仮設商店街内「ぎすなハウス」存続を求める意見書

内容
平成26年12月より仮設商店街にて特定NPO法人が運営する「ぎすなハウス」は、老若男女問わず利用者が多く、子供たちにとっても教育的で尚且つ地域交流スペースであり本町にとつては必要不可欠な存在ですが、仮設商店街撤去に伴い移転が余儀なくされていることから「ぎすなハウス」の現状維持もしくは、近辺への同等の施設設置を求めるものです。

議決結果
反対なく可決
提出先
七ヶ浜町長 寺澤 薫



ズバリ

一般質問一覧表

9月定例会の一般質問は、9日と13日に行い6人が活発な議論を展開しました。

内容は質問者の原稿を原文に近い形で14ページから19ページに掲載しています。

なお、タイトルは通告のとおりです。

岡崎 正憲 14ページ

- 安全な通学路の確保を
- 七老連事務局の設置を望む

遠藤 久和 15ページ

- 交通対策について

渡邊 淳 16ページ

- 高台移転元地の利活用促進策の考え方は
- 空き家対策に関する条例制定の考えは

歌川 渡 17ページ

- 全教職員にパソコン貸与を
- 消防団員への出勤手当の未支給について
- 災害公営住宅入居者への支援策について

木村 稔 18ページ

- 水道料金の引き下げについて

熊谷 明美 19ページ

- ファミリー・サポート事業の取組みについて

町政を問う

※傍聴される方には、一般質問の要旨が記載された資料を配布しております。

第3回定例会 提出議案採決結果一覧 (9/29~10/13)



第3回定例会では、人事や条例改正、27年度各種会計補正予算等の議案22件、諮問2件、認定7件、議員提出議案2件、陳情1件、報告1件の審議をしました。

賛否が分かれた案件を採決一覧表に、全会一致の案件は名称のみ掲載しました。なお、議案名は略して記載しています。

※26年度各種会計決算の審議内容(採決)は5~7ページに、掲載しています。

●賛否が分かれた議案等

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	仁田 秀和	木村 稔	熊谷 明美	佐藤 壮一	安倍 敏彦	佐藤 衛	渡邊 淳	遠藤 久和	鈴木 初雄	我妻 周悦	佐藤 梶信	歌川 渡	岡崎 正憲	大町 睦夫	
平成27年度一般会計補正予算(第3号)	9	10	3	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特定個人情報(マイナンバー)の保護条例制定	10	10	3	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
手数料徴収条例の一部改正	10	10	3	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分		11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書(議員提出議案)	11	4	9	否決	●	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 議長(大町睦夫)は採決に加わらない。

●全会一致の議案等

条例制定・改正	掲載ページ
○地区避難所の設置等に関する条例の一部改正	10
○地区計画内の建築物制限条例の一部改正	10
○公民館条例の一部改正	10

人事関係他	掲載ページ
○人権擁護委員の候補者(再任)の推薦	10
○人権擁護委員の候補者(新任)の推薦	10
○副町長の選任	10
○教育委員の任命	10
○固定資産評価審査委員の選任	10
○仮設商店街内「きずなハウス」存続を求める意見書(議員提出議案)	11

契約関係ほか	掲載ページ
○工事請負契約「都市公園整備工事(劃山緑地)」	11
○工事請負契約「都市公園整備工事(汐見台南)」	11
○工事請負契約「土地区画整理事業整備がれき撤去(花洲浜地区)」	11
○工事請負変更契約「菖蒲田浜地区災害公営住宅整備事業」	11
○工事請負変更契約「笹山地区避難所建築及び環境整備工事」	11
○工事請負変更契約「土地区画整理事業公共施設整備工事(菖蒲田浜地区)」	11
○工事請負変更契約「防災拠点施設(生涯学習センター)整備工事」	
○工事請負変更契約「防災拠点施設(生涯学習センター)改修工事」	

補正予算	掲載ページ
○平成27年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	
○平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	
○平成27年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	
○平成27年度水道事業会計補正予算(第1号)	



えんどう ひさかず
遠藤 久和

「ぐるりんこ」との 連携が必要

町長 経費等も考慮し検討する

問 所信表明の7本の柱の中で定住対策の要となる交通対策において「ぐるりんこ」のルート変更など経費と利便性のバランスを考え対応していくとの発言であった。定住対策の要となる交通対策が「ぐるりんこ」のルート変更などだけでは到底考えられない。町長の定住対策につながる交通対策とは。

答 町長 民間事業者と協定している「ぐるりんこ」や多賀城市とバス事業者が運行している多賀城東部線、バス事業者独自に運行している汐見台団地線の3路線がある。今後の定住対策も含め公共交通ネットワークワーキンググループを設置し検討中である。

問 7月のアンケート、9月の地区懇談会の意見をふまえて「ぐるりんこ」の増便や町内を8の字に巡回し汐見台中央を軸に多賀城、塩釜への乗り換え、東部線、汐見台団地線への乗り継ぎや1か月乗り放題バスなども検討課題である。今後は「ぐるりんこ」の高台住宅、災害公営住宅への路線への対応から取り組んでいく。

問 住民へのアンケートの設問内容が実際の利用する方の意見を反映できるものにするべきではないのか。

答 町長 アンケートは範囲の広い内容だったので今後は工夫していきたい。

問 住民へのアンケートの設問内容が実際の利用する方の意見を反映できるものにするべきではないのか。

答 町長 アンケートは範囲の広い内容だったので今後は工夫していきたい。



夜間のバスが減便に



おかざき まさひろ
岡崎 正憲

安全な通学路の確保を

教育長 合同点検等に対応したい

問 本町は現在、震災復興に向けた各種工事が行われており、菖蒲田浜地区における県道かさ上げや付け替え道路の工事が佳境に入っている。小中学校への通学路は仮設の歩道や道路の狭さ等かなり危険な箇所が見受けられる。事故が起きてからでは遅く、町全体での早急な対策が求められる。町全域における通学路の見直しや新たな計画を策定し事業として実施できないか。

答 町長 通学路は学校ごとに設定し、安全マップとして児童生徒や全家庭に周知している。また、定期的に安全点検を行い、登下校時はボランティアである見守り隊に協力をいただいている。町全域見直しや計画の作成は必要ないと考える。

問 住民としては学区内のみを通行する訳ではないので、全体を知っておく必要があるのではないのか。

答 町長 学区外のことを詳細ではなく概要を知る意味で前向きに検討したい。

問 平成25年12月に国土交通省道路局からの通達にある「通学路交通安全プログラム」に沿った推進体制の構築と運用を図れないか。

答 町長 本町は本年6月にプログラムを策定し周知と実践に向けた取り組みを行っている。関係課と連携し合同点検を行い安全に必要な対策を検討したい。



気を付けて登校しようね (菖蒲田浜)

ひとこめ
「通学路交通安全プログラム」とは継続的に通学路の安全を確保するため、合同点検の実施や対策の改善・充実を行おうとするもの。

七老連事務所の設置を

町長 社協での対応を含め支援を継続

問 現在の「七ヶ浜町老人クラブ連合会(七老連)」は、会長宅を事務所として活動している。今後、会員数の増加も考えられることから事務局を設置し事務連絡や事務処理にあたらせることが必要と思われる。

答 町長 県内では社会福祉協議会(社協)に事務局を置いている市町村が約7割を占めている。老人会は行政から独立して運営されている。自主性を重んじるためにも、社協での対応を含め町として側面からの支援を継続していく。



うたがわ わたる
歌川 渡

全教職員にパソコンを貸与せよ

教育長 導入に向け、協議・検討したい



問 町職員にはパソコンが貸与され業務を行っている。教職員も教育業務を行う上で必要備品であり、貸与する考えはないか。

答 教育長 教育業務を遂行するにあたり、業務の簡素化やスピード化が図られ、教職員の長時間労働の対策やセキュリティの管理上から有効と考える。大きな学校整備事業が終了した早い時期に、検討委員会を設け、取り組みたい。



たのしい消防団

消防団員へ未支給分の 出動手当を支給せよ

町長 未支給101人分は 早急に支給する

問 平成26年度に消防団員への第3期分（12月～3月）の出動手当が未支給になっている。支給義務であることから、さかのぼって支給の考えはないか。

答 町長 支給しなかったのは、年度予算内の不足が予想されるため支給調整した。ファイヤーボランティア精神で協力していただいた。未支給となったのは、101人分で36万3600円だが、早急に支給するよう対応したい。

問 共益費の負担軽減を図る考えはないか。

答 町長 町全体のサービスの公平性から、一定の負担は必要。共益施設負担区分（入居者、行政区）を設けた。入居者には住棟内の照明およびエレベーターの電気代と照明器具交換分を負担してもらう。

災害公営住宅入居者に 寄り添った支援、対応を

町長 円滑に入居できるように、 努力したい

問 保証人を確保できない入居者には、柔軟な対応を。

答 町長 確保してもらおう努力をしたのだが、個別の相談があった場合、「猶予届」を出して入居できるようにしている。

問 現金払い引越し業者に「後払い」できるように、取り組む考えはないか。

答 一部業者に対応していただき、入居者の一時負担がない特例措置を行っている。説明会、窓口、社協と連携して、案内している。

問 入居後の不具合箇所の改修に関わる要望意見を聞く機会を設ける考えはないか。

答 生活に支障をきたす場合、連絡をいただき、原因を調査し、迅速な対応をしている。



わたなべ あつし
渡 邊 淳

移転元地の事業促進策は

町長 低額貸付で対応する

問 観光スポットの高浦田海岸付近で観光事業の利用が可能になった。移転元地の土地利用促進策で、雇用や助成の条件をつけた土地利用の公募は考えられないか。

答 町長 産業振興や賑わい創出、地元雇用で復興のための事業要件



前から目指した国際観光

を満たせば個人事業希望者でも借地を申し込める。特典付き公募は固定資産税相当額の低額な貸付金額（通常の約1/4程度）で借りられるよう適切な配慮をしているので特典等は示さない。地元雇用の助成も安価な貸付で事業進出の助成につながる。現時点で新たな助成は考えていない。移転元地の利用により地元雇用につながる産業誘導を考えている。

問 現状では事業希望者が完成形をイメージできない。視覚的に宣伝し、誘致促進の考えは。

答 土地利用計画が具体化した時点でイメージパースなどの作成を検討している。長期総合計画（後期）をまとめ、具体的に次第あらたて

問 誘致事業者に対し認可の手続きや下水道の何らかの緩和条件を付けて誘致を促進させる考えはないか。

答 業務用地の低額貸付で緩やかされているので予定はない。

問 誘致を促進させる融資策で、基金の創設や複数銀行に対し連携協定を結び、融資しやすい仕組みづくりを視野にいれるべきではないか。

答 現行の低額貸付で事業者への経済支援を行っている。今後土地利用の基本計画を進める中で必要な検討をしていく。

問 安価な土地の貸付策だけでは難しい。銀行の融資策が受けられる素地作りを促進策に組み入れる考えは。

答 今後、企業誘致策の金融機関対応も勉強していきたい。

空き家対策の条例制定は

町長 現状は改善されている

問 町内の不適切な管理の空き家では近隣の住民に深刻な影響を及ぼしている。地域住民の生命財産の保護や生活環境の保全、空き家の有効な利用を促すため条例化は急務だ。町は有効活用も含め条例化を進めるべきと考える。例えば、空き家を宿泊施設に活用するなど工夫が必要と思うがその考えは。

答 町長 県内でも条例内容は管理のみで有

効活用まで入っていない。実態調査を実施し空き家等の適正な管理条例制定を検討する。特別措置法の努力目標になっているデータベース整備や有効活用等を総合的に検討していく。空き地や空き家に関する除草は、環境美化促進に関する条例等と所管する担当課の対応や所有者によりほとんどが改善されている。

ファミリー・サポート事業の 実施利用は

町長 平成28年度の実施を図りたい



くまがい あけみ
熊谷 明美

問 少子化は深刻な問題であり、子育て世代を支援する一つとして、子どもを預かってほしい人（利用会員）と預かることができる人（協力会員）が子育てをするファミリー・サポート事業がある。近隣市町では既に事業を立ち上げ利用されているが、本町ではいつ頃の実施を考えているか。

答 町長 子ども子育てを取り巻く環境が大きく変化している。本町ではこれまでも社会全体で子育てできる環境づくりに向け、「つどう・つながる・ささえあう」の3つの柱を基本として、若い世代が安心して子どもを産み育てることができるようまっちくりを推進している。

問 ファミリー・サポート事業は、平成28年度に開始できるよう準備を進めているか。

答 サービスを提供できる協力が会員は現在何人が会員登録しているか。知識や心得を習得する講習会の開催は考えているのか。

問 町として、会員登録の実施はしていない。社会福祉協議会では、託児サポート協力員の登録が行われており、町との協力ができてきている。子育て支援に関する講演会を毎年開催し情報を発信している。今後も、知識や心得を習得する講演会を行い登録会員を増やしていきたい。

問 社会福祉協議会と連携のもと、とあるが、事業が立ち上がり定着するまで、町で事業を行う考えは。

答 地域福祉課長 料金体系も含め、充分検討する。

問 より良い事業にするため今後アンケート調査や懇談会の実施は。

答 町長 既に実施しており、その結果をもとに事業展開していく。



楽しい会員交流会（利府町）

問 広報の仕方や利用申し込み受け、調整等、具体的な事務処理を行うセンターは、どこに設置するのか。

答 町の広報紙やパンフレット、ホームページ等により広く啓発していく予定である。事務処理等のセンターは、現段階では、社会福祉協議会との調整を進めていく。



水道事業所



きむら みのり
木村 稔

預金・利益を利用し、 水道料金の引き下げを

町長 黒字化が見込めない限りは、検討しない

問 平成26年度決算では、約14億4000万円の正味運転資本となり、約1億2000万円の純利益が生じている。それを財源として水道料金引き下げを求める。

問 仙南仙塩広域水道からの受水量及び受水料金が、平成22年度から年額で約2130万円、平成27年度からは、年額で約2000万円契約料金が引き下げられたが、確実か。

問 減債積立金内容の説明を求め。

答 繰り上げ償還等が計画された場合に利用する予算である。

答 町長 水道加入金が対前年度約2700万円の増。平成26年度に限り長期前受金戻し入れ利益約3600万円が増額となった。

高料金対策補助金の8100万円があり、このような臨時的収入がなかった場合は、赤字になっていたと厳しい状態と言える。

将来人口の減少と節水型社会の移行により、需要は以前にも増して厳しい状況となり、水道料金収入の増加は見込めない。

問 正味運転資本は、1年以内に取り崩して使える金額か。

答 水道事業所長 そのとおりである。



委員会レポート

これも議会の仕事です

議案は、議員全員で審議したり調査するのが理想ですが、議会で取り上げる内容は複雑で範囲也多岐にわたっており、質疑などで多くの時間が必要になります。そのためいくつかの委員会を設置して、調査を専門的に分担して行うのが委員会活動です。今回、その構成メンバーが決まり、調査事項の検討が行われましたので紹介します。

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会の運営を円滑で効率よく進めるための議長の諮問機関です。通常本議会が招集される開会の数日前に開会され、会期や議事日程のほか、議案や一般質問などの取り扱いを協議します。また、議長から特に諮問された事項の調査・審査を行い答申する役目も担っています。

権限の主なもの

- ①会期・議事日程、一般質問や特別委員会設置の取り扱いなど議会運営に関すること
- ②会議規則、委員会条例などに関すること
- ③諸規程などの起草や先例集（議会運営に必要なルールをまとめたもの）の解釈・運用など議長の諮問に関すること



前列右より
○鈴木 初雄
◎歌川 渡
佐藤 梶信
後列右より
渡邊 淳
我妻 周悦
遠藤 久和

総務・教育常任委員会

担当する課
総務課、政策課、復興推進課、復興整備課、財政課、税務課、七ヶ浜国際村 会計課、教育委員会に属する事項などを担当します。



◎委員長
○副委員長
前列右より
○佐藤 衛
◎渡邊 淳
佐藤 梶信
後列右より
木村 稔
鈴木 初雄
仁田 秀和

12月定例議会以降における
閉会中の調査事項
「学校教育施設の環境整備について」を予定

産業建設・厚生常任委員会

担当する課
町民課、地域福祉課、健康増進課、環境生活課、産業課、建設課、水道事業所に属する事項を担当します。



前列右より
○歌川 渡
◎遠藤 久和
岡崎 正憲
後列右より
安倍 敏彦
我妻 周悦
熊谷 明美
佐藤 壮一

12月定例議会以降における
閉会中の調査事項
「介護保険事業について」を予定

議会広報編集特別委員会

今、皆さんがご覧になっているこの議会だよりの編集、発行を担当しているのが議会広報編集特別委員会です。本委員会では、議会の活動状況をお知らせし議会に関心を持っていただくために、読みやすくて分かりやすい紙面づくりを目指しています。定期発行は年4回で、本議会終了後に編集のため



前列右より
○佐藤 衛
◎岡崎 正憲
大町 睦夫
(発行責任者)
後列右より
安倍 敏彦
仁田 秀和
木村 稔
熊谷 明美
佐藤 壮一



委員による編集作業

第9回

議会報告・懇談会を開催します



	12月12日 (土)	12月13日 (日)
時間	会場	会場
午前10時～	花刈浜地区避難所	菖蒲田浜地区避難所
	湊浜地区避難所	吉田浜コミュニティセンター
	要害・御林地区避難所	笹山地区避難所
午後2時～	東宮浜公民分館	生涯学習センター
	汐見台第2分館	松ヶ浜地区避難所
	代ヶ崎浜地区避難所	境山公民分館

【詳しくは別に配布しているチラシをご覧ください】

新人議員の

意気込み



よろしくお願ひします！

**より住みやすい町
「七ヶ浜壮盛」を図ります**

あの東日本大震災からの復旧復興は道半ばです。より迅速に進めるためにいろいろな山積した問題を解決するには町民一人ひとりに耳を傾け町政に届けてまいります。

また、こころ豊かで活力のある町づくりや安全・安心で住みやすい「七ヶ浜壮盛」を図っていく所存です。

具体的には、一次産業に関わる方の所得の安定、福祉の向上、自然あふれる地域のより良い環境整備や観光力UP、防災に強い町づくり、企業誘致、後期高齢者への支援策などを精査し検討してまいります。



4番 佐藤 壮一

— まちづくりへの思いを語っていただきました。 —

**朋有り連方より来る
また楽しからずや**



1番 仁田 秀和

私は、七ヶ浜に生まれ仙台で育ち10年前前に介護士としてふるさとに帰ってきました。現在は両親と妻、愛犬2匹と共に吉田浜に住んでいます。

私の政治信条は、震災復興の加速です。震災により被災された皆様の笑顔が1日でも早く取り戻せるように、粉骨砕身頑張るとともに、地域コミュニティ充実のためにも、今まで皆様が築き上げてきた絆を大切にしていきたいと思っています。

そして、若者達が安心して定住できる環境づくりを推進してまいります。

**皆さんの声が届く町づくりのため
頑張ります**



2番 木村 稔

議員になって町民の皆さんの要望を身近に聞く事が日増しに多くなり、責任の重さと気軽に声をかけてもらえる喜びを感じています。

七ヶ浜町は人も環境も良く、大変住みやすい所ですが、交通の便が悪いという事をよく聞かれます。高い水道料金や国民健康保険税の引き下げを、議会で取り上げてほしいと期待されています。

皆さんの声を行政に届け、「町民一人ひとりが主人公」の七ヶ浜町を皆さんと一緒につくっていききたいと思っています。

ごっぞ、宜しくお願いします。

**一町一助
を活かして他者を手助けする**



5番 安倍 敏彦

私は、町民の皆様と共にお互いが助け合い協力して安心・安全に暮らせる街づくりを努めてまいります。

そのためには、町民の皆様と議会はもちろんのこと、行政や既存団体の方々、地域の方々、企業の方々、学校の先生方と一体感・連帯感をもって前進したいと考えております。

町民の皆様のご協力、ご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

「好きな言葉」

夢のあるひとにしか 夢のあるまち はつくれぬ。
夢のあるまちにしか 夢のあるひとは育たぬ。

**地域の声を第一に！
女性の視点でまちづくり**



3番 熊谷 明美

8年間、認知症の実母を一人で介護してきました。今、介護に関わっている皆様の心に寄りそいその声を行政に届けたいと思います。また、現役世代から小さなお子様まで「魅力ある七ヶ浜」を実感して頂けるよう、お一人、お一人の声を大切に、現場第一主義の行動力と女性のパワーで住みよいまちづくりに取り組んでまいります。

町民の皆様は、親しく声をかけていただけるよう、いつも元気で笑顔を忘れず頑張ってください。

**自治の三訣（さんけつ）を
心がけて実行**



6番 佐藤 衛

私は、ポイスカウトに参加しております。私たちの初代総長である後藤新平氏によると、ポイスカウト運動の基本は、公共精神の育成としての自治の三訣であると話されております。

人のお世話にならぬよう
人のお世話をするように
そして報いを求めぬよう

この自治の三訣は、家庭・地域さらに地方自治・国のあり方にも通じるものと考えております。

今後、自治の三訣を戒めとしてより良い町づくりに取り組んでまいります。

クイズ？

＜3択から選んでね＞

問1 菖蒲田浜地区の災害公営住宅が完成し鍵の引き渡し式がありました。いつ式がありましたか。

- ①5月5日 ②10月17日 ③1月1日

問2 本町の副町長が決まりました。名前は。

- ①平山良一 ②伊藤博文 ③司葉子

問3 今年の「スポーツフェスタ」に出演したチアダンスチームの名前は。

- ①A&A ②AKB48 ③WINGS

応募方法： はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢、
議会へのご意見を書いてお送りください。
(メール可)

正解者の中から抽選で3人の方に図書券を
進呈します。

あて先：〒985-8577七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1

七ヶ浜町議会事務局 議会だより係

Eメール gikai@shichigahama.com

締切り：平成28年1月4日 (当日消印有効)

前号の答え：問1 ③ 問2 ① 問3 ②

当選者：相澤由理さん、小玉礼子さん、
星知予子さん

当選者からひと言

●只今工事中ではありますが、小豆浜は町外からも沢山の方が来ていただいてサーフィンに又、海を眺め、カメラにおさめる方も少なくありません。

しかしながら、トイレがなく不衛生なビーチとなりつつあり、とても残念です。早急に対応していただきたいです。

●議員の皆様4年間大変ご苦労様でした。また次もがんばって下さい。

◆あつという間に年末を迎えようとしております。高台住宅団地に新築入居された方や災害公営住宅に入居された方、建築中の方など、少しずつではあります。復興が目に見えてきております。平成26年度の決算にも表れておりました。

◆議会だより編集委員会は、新人議員6人と委員長の7人で構成し、新たな気持ちで編集作業に取り組みました。さまざまな議論を繰り返しながらの作業でしたが、でき栄えはいかがでしょうか。これからも読みやすい、親しまれるような編集を心がけてまいります。

岡崎 正憲

議会広報編集特別委員会

委員長 岡崎 正憲

副委員長 佐藤 正憲

委員 仁田 秀和

委員 木村 秀和

委員 熊谷 明稔

委員 佐藤 明美

委員 安藤 敏彦

発行責任者 大町 睦夫

表紙に寄せて

今回の表紙は、10月11日に行われたスポーツフェスタ in 七ヶ浜に出演した「チアダンスチーム WINGS☆チア」の登場です。



キャプテンの
ふじむら まほ
藤村真帆さん
(松小6年)



Q チームの紹介を

A 震災後の2012年7月に三浦由美先生(仙台市在住)が「チアで元気を！」と仙台の教室をやめて七ヶ浜にチームを作りました。町内の幼稚園から小学校6年までの25人で活躍しています。

Q 活躍の舞台は。

A 2013年10月のスポーツフェスタから、町内の様々なイベントと高齢者施設への慰問などです。最近はずールド東北の選手応援でイベントに出演しました。

Q 個人的に将来の夢は。

A 私は、県のアスリート育成プログラムでオリンピック選手を育てる活動に選ばれました。2020年の東京オリンピックでカヌーに出場することが夢です。

Q 七ヶ浜町ってどんなところ。

A 海のきれいな、住みやすい町です。山で合宿をすると早く海に戻りたいと思います。

議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は12月開会予定ですー

詳しくは議会事務局まで TEL357-7435
または、町ホームページ「町民便利帳」を
ご覧ください。

<http://www.shichigahama.com>

編集後記

